

2026 年秋季大会プログラム 20260921ver.
2026 年 11 月 14 日（土）オンライン開催

11 月 14 日 午前の部 10:00-12:15

[R01]個人・共同研究発表 1

司会：土橋臣吾（法政大学）

時間	テーマ	発表者（所属）
10:00-10:30	[R01-1]カリスマからコードへ——オンラインコミュニティにおける権威の埋め込みと人間による監督の再配置——	YuYanlin（筑波大学）
10:35-11:05	[R01-2]在日中国人による母国 SNS アルゴリズムの想像と抵抗	杜妍（慶應義塾大学）
11:10-11:40	[R01-3]「美の規範」の再生産と抵抗のあいだ——日本のソーシャルメディアにおける化粧トレンドの批判的談話分析	LIANGYUXIN（明治大学）
11:45-12:15	[R01-4]ミームの物質化と四重循環ループ——韓国のデモ・展示空間にみるフロー（Flow）と断裂（Rupture）	ムンソル（東京藝術大学）

[R02]個人・共同研究発表 2

司会：岡井崇之（奈良県立大学）

時間	テーマ	発表者（所属）
10:00-10:30	[R02-1]候補者による投稿の情報源分析:2024 年台湾立法委員選挙台中市第 1 選挙区の事例	ZHAOWANTING（名古屋大学）・山本竜大（名古屋大学）
10:35-11:05	[R02-2]イスラエル・ガザ戦争に関する新聞社説の計量テキスト分析:アクターとトピックに着目して	山田翔平（東洋大学）
11:10-11:40	[R02-3]日本型「行政監視 AI マップ」の試案——プロフェッショナル・ジャーナリズムを支えるインフラとして	樋口喜昭（東海大学）
11:45-12:15	[R02-4]大学生の偶発的な政治情報接触とその意味づけの解明	小田賢太郎（東京大学）

[R03]個人・共同研究発表 3

司会：松田美佐（中央大学）

時間	テーマ	発表者（所属）
----	-----	---------

10:00-10:30	[R03-1]「若者の新聞離れ」とは何か？ 三つの全国継続調査による年齢層内変化・疑似コーホート・20～69歳人口の構成分解	尾関高志（桜美林大学）
10:35-11:05	[R03-2]〈論〉はニュースの境界を広げたか——朝日新聞オピニオン面の「大型インタビュー」15年分を事例に	刀祢館正明（慶應義塾大学）
11:10-11:40	[R03-3]AI 検索革命と出版社モデルの衝突——NY タイムズ訴訟が問いかけるメディア産業の未来	城所岩生（国際大学）
11:45-12:15	[R03-4]正月新聞出版広告からみる新聞と出版の関係変容——1990～2025年の全国紙4紙における掲載量・配置・表現の分析	田中裕士（専修大学）

[WS01]ワークショップ1（企画：公募プロジェクト「関西フェミニズム運動史とメディア」）

時間	テーマ	発表者（所属）
10:00-12:15	CM から社会を問い直すフェミニストの眼差し～SNS時代の運動史への接続を目指して～	司会者：石田佐恵子（大阪公立大学） 問題提起者：小林美香（Inclusive Marketing Lab） 討論者：柳志岐（東京大学）

[WS02]ワークショップ2（企画：南田勝也会員）

時間	テーマ	発表者（所属）
10:00-12:15	音楽ライブの身体性——ウェアラブル心拍センサー計測値の社会的考察	司会者：南田勝也（武蔵大学） 問題提起者：平石貴士（立命館大学） 討論者：永井純一（京都橘大学）

[WS03]ワークショップ3（企画：理論研究分科会基礎理論研究プロジェクト）

時間	テーマ	発表者（所属）
10:00-12:15	「批判学派」の学問的貢献：メディア研究のパラダイム整理法の現在について考えるために	司会者・討論者：烏谷昌幸（慶應義塾大学） 問題提起者：藤田真文（法政大学）

[WS04]ワークショップ4（企画：歴史研究分科会ジャーナリズム史プロジェクト）

時間	テーマ	発表者（所属）
10:00- 12:15	「ジャーナリズム史」再考：歴史研究としての現代的意義を考える	司会者：石川徳幸（日本大学） 問題提起者：根津朝彦（立命館大学） 問題提起者：別府三奈子（法政大学）

昼休み（12:15-13:20） ※理事会開催（詳細は別途）

[WS10]ワークショップ 10 （企画：ダイバーシティ推進ワーキンググループ）

時間	テーマ	発表者（所属）
12:25- 13:10	学術出版をするには？～研究を本にするための実践ガイド	司会者：竹田恵子（東京外国語大学） 問題提起者：調整中（日本メディア学会会員および出版社編集者を予定）

11 月 14 日 午後の部 1 13:20-15:35

[R04]個人・共同研究発表 4

司会：松山秀明（関西大学）

時間	テーマ	発表者（所属）
13:20- 13:50	[R04-1]浅野和三郎と宗教メディア：雑誌『心霊研究』『心霊界』『心霊と人生』（1923～1937）を中心に	張鼎銘（筑波大学）
13:55- 14:25	[R04-2]1960～1970 年代の女性週刊誌における『NHK 紅白歌合戦』の取り上げられ方：「国民的歌番組」をめぐって	加藤穂香（桐蔭横浜大学）
14:30- 15:00	[R04-3]秀光社と雑誌『雲南』：中国語雑誌から見る明治日本出版文化の一側面	董子昂（北海道大学）

[R05]個人・共同研究発表 5

司会：東園子（京都産業大学）

時間	テーマ	発表者（所属）
13:20- 13:50	[R05-1]日本アニメの受容経験と文化的志向の形成・再編——在日中国人アニメ制作者のメディア実践に着目して	楊嬌（一橋大学）

13:55- 14:25	[R05-2]制約が共鳴を生む― 湖南衛星テレビ制作現場における制作文化と社会的共鳴	朱偉（北海道大学）
14:30- 15:00	[R05-3]アニメにおける声優のキャラクター演技音声の魅力に関する質的研究：女性声優の少年声に着目したインタビュー調査を通じた探索的検討	林大輔（日本たばこ産業株式会社）・児玉（渡邊）茉奈美（株式会社アイデアラボ）・浅野昭祐（株式会社アイデアラボ）

[R06]個人・共同研究発表 6

司会：塚田修一（相模女子大学）

時間	テーマ	発表者（所属）
13:20- 13:50	[R06-1]特攻の記憶―ドキュメンタリー映画『筑波海軍航空隊』を中心に	沢木瑛美（佛教大学）
13:55- 14:25	[R06-2]戦後の皇室報道はどう変わったのか―テレビにおける放送量と皇室の「可視性」の変容 【発表辞退】	つげのり子（西武文理大学）
14:30- 15:00	[R06-3]間接話法による心的態度の記述の技法：スポーツ中継を例に	秋谷直矩（山口大学）
15:05- 15:35	[R06-4]希望のビッグデータ社会モデルの構築のために―圏論を構文論として―	大山智徳（無所属）

[WS05]ワークショップ 5 （企画：公募プロジェクト「道具の美と雑誌メディアの歴史的
研究」）

時間	テーマ	発表者（所属）
13:20- 15:35	古物にとって雑誌とは何か：雑誌『茶わん』における古物の批評実践とアクションに注目して	司会者：岡澤康浩（京都大学） 問題提起者：團康晃（大阪経済大学） 問題提起者：小田中悠（京都先端科学大学） 討論者：陳海茵（東京工科大学）

[WS06]ワークショップ 6 （企画：学会制度改革 WG）

時間	テーマ	発表者（所属）
13:20- 15:35	大学に求められる生成AI教育・研究とは	司会者：水越伸（関西大学） 問題提起者：新嶋良恵（十文字学園女子大学） 問題提起者：福山佑樹（関西学院大）

		学) 討論者：田島将太 (StoryHub 株式会社)
--	--	--------------------------------

[WS07] ワークショップ 7 (企画：ジェンダー／ダイバーシティ研究分科会)

時間	テーマ	発表者 (所属)
13:20- 15:35	「アフリカ・ホームタウン」騒動とクルド人ヘイト問題からみる排外主義の現在地	司会者：李美淑 (東京大学) 問題提起者：明戸隆浩 (大阪公立大学) 問題提起者：倉橋耕平 (創価大学)

[WS08] ワークショップ 8 (企画：林怡媛会員)

時間	テーマ	発表者 (所属)
13:20- 15:35	放送業界におけるジェンダー平等の実態と課題～構造的課題と意識の変化～	司会者：林怡媛 (立教大学) 問題提起者：鹿島千穂 (実践女子大学) 討論者：白川大介 (日本民間放送労働組合連合会)

[WS09] ワークショップ 9 (企画：社会研究分科会)

時間	テーマ	発表者 (所属)
13:20- 15:35	メディア／ジャーナリストへの攻撃的・侮蔑的言説を考える	司会者・討論者：津田正太郎 (慶應義塾大学) 問題提起者：セザール・カステルビ (パリ・シテ大学)

11 月 14 日 午後の部 2 15:45-18:15

[S01] 国際シンポジウム

時間	テーマ	登壇者 (所属)
15:45- 18:15	東アジアからひらく世論研究の新たな地平	司会者：千葉悠志 (京都産業大学) 報告者：アダム・ブロンソン (英ダラム大学) 討論者：比護遥 (金沢大学) 討論者：稲増一憲 (東京大学)